

報告事項

平成20年度学校給食文部科学大臣表彰について

平成20年度学校給食文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成20年11月14日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成 20 年度学校給食文部科学大臣表彰について

体育保健課

1 趣旨

学校給食の普及と充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校及び共同調理場並びに特に功績のあった学校給食関係者及び学校給食関係団体を文部科学大臣が表彰する。

2 本県の被表彰団体及び功績概要

(1) 共同調理場 日南町立学校給食センター(所長 伊田万由美)

- ・「学校給食衛生管理の基準」に加え、委託業者の厳しい社内基準により、徹底した衛生管理のもと調理を行っている。
- ・ＪＡと協力し、地元産のコシヒカリを使用した完全米飯給食で、郷土食等を取り入れた和食中心の献立を提供している。また、町内の産物をとおして日南を知り、ふるさとを愛する心を育てる取り組みをしている。
- ・地産地消を推進し、野菜等の種類、量ともに使用率を上げ 19 年度は 75%と県内平均を大きく上回っている。
- ・食に関する指導の年間指導計画のもと、噛むことを意識した「かみかみの日」など課題を意識した取り組みや児童が考案した献立を採用したり、学校で作った作物を食材として使用したりするなど、様々な取り組みを通して食育の推進に努めている。

(2) 学校給食関係団体 倉吉市学校給食食材供給部会(代表 前田富貴恵)

- ・安全安心な食材を提供するために、ＪＡ等と地場産物の供給体制を整備して旬の野菜の安定供給に努めている。
- ・給食センターと連携して調理員や学校栄養職員との意見交換や規格等の勉強会を実施したり、栽培方法や農薬の使用などについてもＪＡと連携して研修を行っている。
- ・子どもたちと生産者による収穫体験や調理体験などを通して交流を深め、農業の重要性を伝えるなど食育の推進に積極的に関わっている。
- ・ＪＡ中央の機関誌で活動内容等を発信したり、市内の食育シンポジウムなどでも活動内容を伝えるなど地域の食育の推進に貢献している。

3 表彰式

日 時 平成 20 年 11 月 13 日(木) 午前 10 時から
会 場 島原復興アリーナ (長崎県島原市平成町 2 - 1)
第 59 回全国学校給食研究協議大会において表彰